2019/09/06 SWEST21@下呂温泉水明館



### 高精度衛星測位 RTK-GNSS チュートリアル

#### 静岡大学 総合科学技術研究科 情報学専攻 木谷研究室

BIKEINFORMATICS | KITANI LAB



### Contents



### 1. 準備と機材の確認

- 2. u-blox社製GNSSモジュールの初期設定
- 3. RTK測位ことはじめ
- 4. RTKLIBによる後処理 Kinematic 演算
- RTKPOST と国土地理院の電子基準点データを用 いた,独自基準局の高精度位置の計算
  - 移動局の位置を後処理 Kinematic 測位演算
- 5. RTKNAVIによるリアルタイム高精度測位





- 機材チェック
- アカウントの用意
- ソフトウェアのインストール



- RTKLIB, u-centerをインストールしたPC
- GNSSモジュール
  - 🔹 u-blox ZED-F9P(2周波) または NEO-M8T(1周波)
  - 2周波の恩恵を受ける場合は、ドローンも基準局も 両方を F9P にする
  - 右は Sparkfun GPS-RTK2 ボード
    - スイッチサイエンスで 30,800円

#### ■ アンテナ

**u-blox ANN-MB0** ■ スイッチサイエンスで8,640円





### 基準局用機材(講師側で用意)

#### GNSSモジュールとアンテナとグランドプレート

- u-blox ZED-F9P または NEO-M8T
- アンテナは大きくても良い
- ロガーはPCでも Raspberry Piでも マイコンでもOK
  - PCやRpiはUSB経由で、マイコンだとUART経由でデータ取得
  - 何らかの手法で移動局側からデータを引っ張れるようにす る
  - 今回は Wio-LTE を使って,フリーのNTRIPサーバ rtk2go.com:2101/SWEST21 に中継







### 国土地理院のサービス利用 アカウントの用意



- Kinematic測位の独自基準局を設置する際に国土地 理院の電子基準点の観測データを使用
  - 厳密な絶対位置が不要な場合はこの作業は不要
  - その場合でも独自基準局との相対位置関係の精度は同等
- 電子基準点データ提供サービスへのアクセスにはア カウントが必要
  - 国土地理院のウェブサイト
  - https://terras.gsi.go.jp/sso\_login.php





#### **KEYWORDS**

- u-blox社 GNSSモジュール設定ソフトウェア
   u-center
- オープンソースGNSS測位演算ソフトエア RTKLIB

### u-blox社製GNSSモジュール 管理ソフトウェア u-center



### ■主な機能

- GNSSモジュールの設定確認と変更
- GNSSモジュールが受信している衛星の確認
- GNSSモジュールが出力するメッセージの制御
- GNSSモジュールの内蔵RTKエンジンを使うため
  - に,RTK測位に必要な補正情報の中継

### u-center導入 公式サイトからダウンロード

2019/09/06



**KITANI LAB** 

- u-blox社製GNSSモジュールの設定・評価用ソフトウェア
  - https://www.u-blox.com/ja/product/u-center
- 上記URLよりu-centerの最新バージョン(v19.03以降)をダウンロード







目動車、モバイル運転およびイシノラストラクチャ・アクリケーションIPITUrcenter GNSS時価 ソフトウェアは、u-blox GNSSレシーバーの評価、性能解析および構成のための強力なツールを 提供します。柔軟性の高いu-center GNS時価ソフトウェアは、u-blox GNSSレシーバーの評



展開 Download × u-centersetup\_v19.06 X 管理 表示 圧縮フォルダーツール ~ O 表示 アプリケーション ツール Windows (C:) > Download 、 
つ Downloadの検索 Q Windows (C:) > Download > u-centersetup\_v19.06 ✓ ひ u-centersetup\_v19.06の検索 ٥ 名前 面新日時 種類 サイズ 名前 更新日時 種類 サイズ u-centersetup\_v1 WinRAR ZIP 書庫 Du-center v19.06.exe 2019/06/27 14:21 アプリケーション 11,538 KB 聞く(0) 1 WinRAR で開く(W) झ 解凍(A)... ここに解凍(X) 実行 u-centersetup\_v19.06¥ (C解凍(E) EmEditor ♥ Windows Defender でスキャンする... ☑ 共有 プログラムから開く(H) 以前のバージョンの復元(V) 送3(N) ものり取り(T) 31-(C) ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M) プロパティ(R) 855 11.2 MB 8== 📼 〒 11.2 MB

### u-center導入 インストール作業実行



#### インストーラが起動

#### 指示に従って進めていく

#### 「次へ」 1



次へ(N)> キャンセル



blox

ライセンス契約書 u-center\_v19.06をインストールする前に、ライセンス条件を確認してくださ

[Page Down]を押して契約書をすべてお読みください。

u-blox ag ELECTRONIC END USER LICENSE AGREEMENT for u-blox software products

NOTICE TO USER THIS IS A CONTRACT. BY INSTALLING THIS SOFTWARE YOU ACCEPT ALL THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT.

契約書のすべての条件に同意するならば、[同意する] を選んでインストールを続けてください。 u-center\_v19.06 をインストールするには、契約書に同意する必要があります。

< 戻る(B) 同意する(A) キャンセル



Pu-center\_v19.06 セットアップ

コンポーネントを選んでください。 u-center\_v19.06のインストール オブションを選んでください。

○ストールしたしロンボーネントにチェックを付けて下さし、不要なものにつしては、チェックを外して下さ ↓ 続けなこましたへ」をクリックして下さし、							
インストール コンポーネントを選 R:	⊢Vu-center 19.06 B-W Drivers						

要なディスクスペース: 27.8 MB	【 説明 コノボーネントの上にマウス カーソルを移動すると、こコロ説明 が表示されます。

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル



<b>5インス</b>	、トールが始まる	⑥「完」	۲J
u-center_v19.06 ゼットアップ  block  i出出:u-center_UserGuide(UE  詳細を表示(D)	ー 〇 × <b>インストール</b> u-center_v19.06をインストールしています。しばらくお待ちください。 3X-13005250)pdf	● u-center_v19.06 ゼットアップ	u-center_v18 しました。 u-center_v19.06は、 ウィザードを閉じる! MLaunch u-cente Visit u-blox Websi
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル		

~



SWEST21@下呂温泉水明館

### 衛星測位演算ライブラリ RTKLIB



■ 主なソフトウェア(抜粋紹介)

- ストリームサーバ STRSVR (CUIバージョンは str2str)
  - シリアル,TCP,NTRIP,ファイルへのデータストリーミング
- データ変換 RTKCONV(同 convbin)
  - 衛星観測データファイルをRINEXフォーマットに変換
- リアルタイム測位演算 RTKNAVI(同 rtkrcv)
  - シリアルやネットワークから衛星観測データを取得してリアルタイムに演算し、結果をファイルに保存したり、TCPなどで配信も可能
- 後処理測位演算 RTKPOST(同 rnx2rtkp)

■ RINEX 形式の観測データから後処理キネマティック測位演算 可視化支援 POS2KML

RTKLIBでの測位結果(POSファイル)をKMLファイルに変換
 Google MAPやGoogle Earth等のGUIソフトで測位結果の視覚化可能



#### http://www.rtklib.com

#### ■ 上記URLよりRTKLIBの最新バージョンをダウンロード

Overview | Release Notes | Support | Documents | References | Porting to BB | To Do | Statistics | SDR Receiver

RTKLIB: An Open Source Program Package for GNSS Positioning

Download

#### 最新バージョンの Windowsパッケージを選択

Version	Date	Binary AP Package for Windows	Full Package with Source Programs
0.2.0	2006/12/16	-	rtklib 0.2.0.zip (2.8MB)
1.0.0	2007/01/25	-	rtklib 1.0.0.zip (10.5MB)
1.1.0	2007/03/20	-	rtklib 1.1.0.zip (6.2MB)
2.1.0	2008/07/15	-	rtklib 2.1.0.zip (22.9MB)
2.2.0	2009/01/31	rtklib 2.2.0 bin.zip (10.7MB)	rtklib 2.2.0.zip (23.4MB)
2.2.1	2009/05/17	rtklib 2.2.1 bin.zip (15.3MB)	rtklib 2.2.1.zip (30.6MB)
2.2.2	2009/09/07	rtklib 2.2.2 bin.zip (21.4MB)	rtklib 2.2.2.zip (33.8MB)
2.3.0	2009/12/17	rtklib 2.3.0 bin.zip (26.7MB)	rtklib 2.3.0.zip (35.8MB)
2.4.0	2010/08/08	rtklib 2.4.0 bin.zip (17.4MB)	rtklib 2.4.0.zip (26.5MB)
11	2011/06/11	rtklib 2.4.1 bin.zip (16.5MB)	rtklib 2.4.1.zip (26.4MB)
2 0	2013/04/29	rtklib 2.4.2 bin zin (30.4MB)	rtklib 2 4 2 zip (55 2MB)

These are just old archive recording. To download of the newest version, please visit the following GitHub links.

Version	Date	Binary	APs for Win	dows	Source Programs and Data
2.4.2 p13	2018/01/29		GitHub		GitHub
2.4.3 b32	2019/05/13		<u>GitHub</u>		GitHub

The 2.4.2 pXX is the stable version with the newest patches. The 2.4.3 bXX is the development or beta version with experimental implementations. Please refer the <u>support information</u> for bug and known problem list.

#### **Tutorial and Demonstration**

GNSS-SDRLIB: Open Source GNSS Software Defined Radio Library (SDR working with RTKLIB)

Google play: RTKGPS+ (Android frontend of RTKLIB)

2019/09/06

最新版をタワ	ンロー	ド	14
Clone or Download =	⇒ <sup>r</sup> Downle	bad ZIP	1
	_ • • • • • • • •		-
<sup>F</sup> RTKLIB_bin-rtklib_2.4	1.x.zip」を	ダウンロ	コード
2019年8月19日時	京で <b>b33</b> が最新	KLIB_bin-rtklib_24.3.zipJをダウンロードしま	すか? Jign in Sign up
tomojitakasu / RTKLIB_bin	tomojitakasu / RTKLIB_bin     ↔ Code     ① Issues 4 1 Pull requests 1	ファイル名: RTKUB_bin-rtklb_2.4.3.zip マイルサイズ: 不明 赤スト: codeload.github.com は、原定のダウンロードフォルダーにファイルを保存する 名前を付けて保存 開く 4	atch 32 ★ Star 87 V Fork 69
Dismiss Dismis	③保存 GitHub is hor revier	Join GitHub today te to over 40 million developers working togo v code, manage projects, and build software t Sign up	Dismiss ether to host and together.
Image: Open set of the set	(c) 32 commits	2 branches 🛇 0 rel	eases 🚨 1 contributor
Branch: rtklib.2.4.3 • View #3 Find File Clone or download •	Branch: rtklib 2.4.3 - View #3		Find File Clone or download -
This branch is 29 commits ahead, 5 commits behind master. Clone with HTTPS ③	This branch is 29 commits ahead, 5 commits behind n	iaster.	Downloading
Stomojitakasu rtklib 2.4.3 b33	😻 tomojitakasu rtklib 2.4.3 b33		Want to be notified of new releases in
nttps://gitnub.com/tomojitakasu/RTKLIB_b			tomolitakasu/KIKLIB bin?

SWEST21@下呂温泉水明館

## RTKLIB導入 (Windows)



### ■ ダウンロードしたzipファイルを解凍

#### ■ 解凍ファイル「RTKLIB\_bin-rtklib\_2.4.3」⇒「bin」 RTKLIBのアプリケーションが入っている

	展開	Download		-	
表示	圧縮フォルダー ツール				$\sim$ (
> Windo	ws (C:) > Download		~ Ŭ	Downloadの検索	م
^ 名	前	^	更新日時	種類	
	RTKLIB_bin-rtklib_2.4.3	.z	2040/00/20 4120	WinRAR ZIP	書庫
		開く(O)			
		🏧 WinRAR で開く(W)			
		<b>謹</b> 解凍(A)			
		22に解凍(X)			
		RTKLIB_bin-rtklib_2.4.3¥	に解凍(E)		
		EmEditor			
		🕀 Windows Defender でスキ	キャンする		
		100 共有			
		プログラムから開く(H)			
		以前のバージョンの復元(い)			
				-	
		送る(N)			
		切り取り(T)			
< <		コピー(C)			
R 37.5 N	1B			-	8==

				- 0	×
表;	示		~ ?		
LIB_t	pin-rtklib_2.4.3 > RTKLIB_bin-rtklib_2.4	.3 > bin	✓ ひ binの検索	Ēć	P
^	名前 ^	更新日時	種類	サイズ	^
	Ttkconv.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	5,751 KB	
	👸 rtkget.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	3,544 KB	
	artklaunch.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	3,799 KB	
	e rtklib_gmap.htm	2019/08/19 18:05	HTM ファイル	3 KB	
	👼 rtknavi.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	7,567 KB	
	👼 rtknavi_mkl.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	7,566 KB	
	👼 rtknavi_win64.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	7,567 KB	
	otkplot.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	7,590 KB	
	e rtkplot_ge.htm	2019/08/19 18:05	HTM ファイル	7 KB	
	e rtkplot_gm.htm	2019/08/19 18:05	HTM ファイル	3 KB	
	🛒 rtkpost.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	6,434 KB	
	🞆 rtkpost_mkl.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	6,444 KB	
	ntkpost_win64.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	8,578 KB	
	👼 rtkvideo.exe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	10,656 KB	
~	🛱 rtkvnlaverexe	2019/08/19 18:05	アプリケーション	10 574 KR	×

Mac or UNIX系OS ではソースをダウンロードし、コンパイ ルする必要がある(GUIバージョンはなくCUIのみ)







## u-bloxモジュールの準備

#### **KEYWORDS**

- u-blox社 GNSSモジュール ... ZED-F9P,NEO-M8T
- u-center





- 1. u-bloxモジュールをPCにシリアル通信デバ
  - イス(COMポート)として認識させる
- 2. u-centerを知る
- 3. u-bloxモジュールのファームウェアバージョ



4. u-bloxモジュールのファームウェア更新

## 1. u-bloxモジュールのPC接続





Ctrl-0

Ctrl-30

>

### u-bloxモジュールがCOMポート に認識されない場合



■ 一度,USBを抜き,改めて接続してみる

- これで認識されることもある
- デバイスアイコン上に小が表示されている場合に有効
- デバイスマネージャからドライバの再インストール

をする デバイスのプロパティ
ドライバの更新
「USBシリアルデバイス」を 選択

ı-blo	x GNSS Receiver (COM	B)のプロパティ	
全般	ポートの設定 ドライル	バー 詳細 イベ 🗲	■ ドライバーの更新 - u-blox GNSS Receiver (COM8)
V	u-blox GNSS Rec	ceiver (COM8)	このハードウェアのためにインストールするデバイス ドライバーを塗
	プロバイダー:	u-blox AG	ハードウェア デバイスの製造元とモデルを選択して [次へ] をクリックして クがある場合は、[ディスク使用]をクリックしてください。
	日付: バージョン:	2018/08/17 18.8.0.0	_
	デジタル署名者:	Microsoft Wi Publisher	✓ 互換性のあるハードウェアを表示(C) モデル
	ドライバーの詳細(I)	インストールされてい す。	□ u-blox GNSS Receiver □ USB シリアル デバイス □ USB シリアル デバイス
	ドライバーの更新(P)	このデバイスのドライ	
	ドライバーを元に戻す(R)	ドライバーの更新後 ンストールしたドライ	このドライバーはデジタル署名されています。 ドライバーの署名が重要な理由
	デバイスを無効にする(D)	デバイスを無効にし	····
=	<b>パイフのマンインフト</b> 川川八	2021122	





# u-blox GNSSモジュールの動作のモニタリン

- 捕捉している衛星
   測位情報
- u-blox GNSSモジュールの設定変更
  - 使用する衛星選択

### 測位間隔

出力するメッセージの制御





u-centerの主なウィンドウ説明

#### ■ 主に使う機能は次の3つ

#### Packet Console

Paciet Contole (27:22:22 P -> UBY DVM_SEDBY Size 32 'Subframe	Data N		- •	23								
<pre>??:??:?? R -&gt; UBX RXM_SFRBX, Size 32, Subframe ??:??:?? R -&gt; UBX RXM_SFRBX, Size 32, Subframe ??:??:?? R -&gt; UBX RXM_SFRBX, Size 32, Subframe</pre>	Data NO Data NO Data NO				ľ	E LOG	(Data Logger) A (Multiple GNSS	UBX - R	XM (Rece	river Ma	anager) - RAWX (M	ulti-GNSS R
7:17:17: R -> UBX RXM-SFRBX, Size 32, Subframe 72:17:27: R -> UBX RXM-SFRBX, Size 32, Subframe 72:17:27: R -> UBX RXM-SFRBX, Size 32, Subframe	Data NO					I NA	N (Monitor) ( (Navigation)	Local Ti	me [	2067	119799.995000000	[1]
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	Data NG Data NG	easur emen	t Data' t Data'				I (Receiver Mana ALM (Almanac) EPH (Ephemeris) MES (IMES Status WEASX (Measures PMEEQ (Power M RAW (Raw Measu RAWX (Multi-GN RLM (Return Link	5V 630 613 621 615 602 605 827 818	Sig. L1C. L1C. L1C. L1C. L1C. L1C. L1C. B1D1 L10F	G 	Preudo Range [m] 21508388 95 18733395 38 23933942 98 19718360 39 20746623 97 19222093 43 24163165 16 19721530 98	Carrier Ph 1130 9644 1228 1036 1090 1010 1256 1052
22:72:27 R → U     Configure - GNSS Configuration     22:27:27 R → U     ANT (Antenna Settings)	^ [											•
27222227         R         > U         BATCH (Batch mode output)           7222222         R         > U         CFG (configuration)           72222227         R         > U         DAT (Datum)           7222227         R         > U         DAT (Datum)	ID 0	GNSS GPS	Configure	Enable	Chann min 8	els max 16	Signals					
B         X         9e         III         ISTGVT (Grow-Whetlick)           ISTGVT (Grow-Whetlick)         ISTGVT (Grow-Whetlick)         ISTGVT (Grow-Whetlick)	1 2 3 4 5	Galleo BelDou IMES QZSS	בפרפ	בפרפ	0 10 4 0 0	0 4	F ET F B1 F LICA F LICA F LIS					
HNR (High Nav Rate) INF (Inf Messages) ITFM (Jamming/Interference Monitor)	6 7	GLONASS	4	ų	8	12	17 L10F					

- **USBポート**に出力されたデータのデコード結果をみられる
- ubxバイナリデータかNMEAか、メッセージ長は何 Byteかの情報が 表示

#### Message View

ubxプロトコル形式のバイナリ、NMEAなど、メッセージパケット内の値を表示

#### **Configuration View**

 u-bloxモジュールの動作に関わる設定をGUI(チェックまたは値指 定)で行う

NMEAメッセージとは



- GNSSモジュールが<mark>測位演算した結果</mark>を文字
  - 列として受け渡す標準フォーマット形式
  - National Marine Electronics Association による
- GPS/GNSSのNMEAメッセージ
  - NMEA0183
  - 形式によってさまざまな情報を得られる

受信機の状態:GxGGA
 測位に有効な衛星情報:GxGSA
 衛星から取得した時刻情報:GxZDA

# UBXプロトコル



u-blox社のGNSSモジュールで使われる観測データと 設定データを表すデータ形式

■ GNSSモジュールの設定を変更するためにも使う

- 基本的にバイナリデータ
  - メッセージの意味を理解するにはデコードが必要
- UBXバイナリは生の観測データを出力させることが でき(モジュールに依る),次のデータに変換でき る

 $UBX \rightarrow RTCM$ 

■ Realtime Kinematic(RTK)演算用の補正用データ

 $UBX \rightarrow RINEX (OBS, NAV)$ 

■ Kinematic(後処理)演算用の観測データ





### u-bloxモジュールの設定

#### **KEYWORDS**

■ u-blox社 GNSSモジュール ... ZED-F9P,NEO-M8T

u-center





### ■ u-centerを起動し,各種設定を行う

- 1. GNSS
  - 観測する衛星システムの選択
- 2. Rate
  - 観測間隔の設定
- 3. Port
  - u-bloxモジュールのデータ入出力ポートの設定
- 4. Message
  - 出力するデータの種類の設定
- 5. Write Current Configuration to Flash Memory

### Configuration Viewから モジュール設定を変える

2019/09/06



BATCH (Batch mode output)	U - CFG (Conrig) - GNSS (G	NSS Conrigj			
CFG (Configuration)			Channels	s	
DAT (Datum)	ID GNSS Configur	e Enable	min	max Signals	
DGNSS (Differential GNSS configuration)	0 GPS 🔽	~	8	16 V L1C/A	
DOSC (Disciplined Oscillator)	1 SBAS		lo i		
EKF (EKF Settings)	2 Californ II		10		
ESFGWT (Gyro+Wheeltick)					
ESRC (External Source Contig)	3 BeiDou 🔽	V	4	5	
GEOEENCE (Geofense Config)	4 IMES 🗖		0	0 🗖 L1C/A	
GNSS (GNSS Config)	5 QZSS 🔽	~	0		
HNR (High Nav Rate)	6 GLONASS	2	8	12 V 110F	
INF (Inf Messages)	3 IDN00	1.			
ITEM (Imming/Interference Monitor)	7 IRNSS				
LOGEILTER (Log Settings)					
MSG (Messages)	Number of channels available		60		
NAV5 (Navigation 5)	Number of channels to use		60	Auto set	
NAVX5 (Navigation Expert 5)			1		
NMEA (NMEA Protocol)	E CONCINCIÓN CONCINCIÓN				
ODO (Odometer/Low-Speed COG filter)	For specific SBAS configuration	n use			
PM (Power Management)					
PM2 (Extended Power Management)					
PMS (Power Management Setup)					
PRT (Ports)					
PWR (Power)					
RATE (Rates)					
RINV (Remote Inventory)					
RST (Reset)					
RXM (Receiver Manager)					
SBAS (SBAS Settings)					
SI DS (SI DS cettings)					

#### 設定項目リスト

SWEST21@下呂温泉水明館



# 設定項目1: GNSS (GNSS config)

### ■ ZED-F9Pの場合

 GPS, Galileo, BeiDou, QZSS, GLONASSのEnableを有効

### ■ M8Tの場合

- BeiDouとGLONASSは排他利用
- BeiDouのEnableを無効
- GLONASSのEnableを有効
- ➡後に使う国土地理院の電子基準 点がBeiDouに対応していないため.
- 独自基準局をつかうときはBeiDou の方を使ってもよい.



				Channel	S	
D	GNSS	Configure	Enable	min	max	Signals
)	GPS	$\checkmark$	$\checkmark$	8	16	🔽 L1C/A
1	SBAS		$\Box$	0	0	🗖 L1C/A
2	Galileo		$\overline{\mathbf{v}}$	10	18	🔽 E1
3	BeiDou		$\overline{}$	4	5	🔽 B1
4	IMES			0	0	🗖 L1C/A
5	QZSS	$\checkmark$	$\checkmark$	0	3	🗹 L1C/A 🖂 L1S
3	GLONASS		$\checkmark$	8	12	🔽 L10F
7	IRNSS					
ID	GNSS	Configure	Enable	min	max	Signals
0	GPS	~	$\overline{\mathbf{v}}$	8	16	L1C/A
1	SBAS		$\overline{\mathbf{v}}$	1	3	☑ L1C/A
2	Galileo		$\overline{\mathbf{v}}$	4	8	✓ E1
3	BeiDou	~		8	16	I▼ B1
4	IMES			0	8	☑ L1C/A
5	QZSS		$\overline{\mathbf{v}}$	0	3	🔽 L1C/A 🗆 L1
6	GLONASS		$\overline{\mathbf{v}}$	8	14	☑ L10F
7	IRNSS					
Number	of channels	available		32		
Number	of channels	to use		32	□ Au	to set

For specific SBAS configuration use



## 設定項目 2:RATE (Rates)



- モジュールの計測間隔(メッセージ出力間隔) を変更する
  - デフォルトの設定では,計測間隔が1Hz
  - 今回は 5 Hz にするために「Measurement Period」を 「200」にする
    - 2周波のデータは日本ではオープンスカイだと1エポック最大
       2 KB 程度

	UBX - CFG (Config) - RATI	UB)		
	Time Source	1 - GPS time	•	Tim
	Measurement Period	1000	[ms]	Me
1	Measurement Frequency	1.00	[Hz]	Me
	Navigation Rate	1	[cyc]	Nav
ST21	Navigation Frequency	1.00	[Hz]	Nav

SWES

UBX - CFG (Config) - RAT				
Time Source	1 - GPS time	•		
Measurement Period	200	[ms]		
Measurement Frequency	5.00	[Hz]		
Navigation Rate	1	[cyc]		
Navigation Frequency	5.00	[Hz]		t f
	5		RMATICS	KITANI I



- 詳細設定パネルの値を変更しただけではモジュール 側の設定は変更されていない
- configure ウィンドウの左下の「Send」を押すこと
   で、本体に変更命令が送られる
  - 設定変更後に「Send」が押されていない場合 次のようなメッセージは一応表示される



「Poll」を押すことで,モジュールに設定されている値を 要求し確認することができる

■ 変更されたか確認

SendボタンとPollボタン





## 設定項目 3: PRT (Ports)



- F9Pモジュールにはデータ入出力ポートとして, USB,
   I2C, UART1, UART2, SPI の5つのポートが用意されている
- 今回使用するポートは,USB である
  - USB … 今回はu-centerから設定書き込み, strsvrでの観測
     データのロギングに使用
  - UART, I2C, SPI ... マイコンでロギングしたりする場合に使用し、今回はなし
- 以降のスライドの設定を行い、<u>各ターゲットの設定</u> 変更ごとに「Send」を押して適用する

### 設定項目 3 : PRT(Ports) USB



- USBの設定は基本デフォルトから変更しなく てよい
  - 少なくとも Protocol in/out にUBX があることを 確認
  - Protocol in から UBX を外すと u-center を使って 以後の設定ができなくなるので厳禁

	UBX - CFG (Config) - PRT (Ports)		
20	Target	3 - USB	
	Protocol in	0+1+5 - UBX+NMEA+RTCM3	
	Protocol out	0+1+5 - UBX+NMEA+RTCM3	

### 設定項目 3 : PRT (Ports) 使わないポートは none に



- データ出力機能をオフにしていなければ、使っていない ポートでも送信バッファ溢れが起こって内部の処理が滞る ことがある
  - USBで使うときは問題が起きることは少ない
  - 気になるなら UART1,UART2,SPI,I2C の入出力を none にしてお く

UBX - CFG (Cor	nfig) - PRT (Ports)	UBX - CFG (Config) - PRT (Ports)		
Target Protocol in	0 - 12C 🔹	▼ Target 4 · SPI Protocol in none	4 · SPI ▼ none ▼	
Protocol out	none	Protocol out	none	

## 設定項目4: MSG (Message)



# u-bloxモジュールから出力できる「NMEA」 や「ubxプロトコルデータ」など,各種メッ セージの出力制御命令を送って設定する Kinematic測位に必要なデータの出力設定を 追加する

### 設定項目4:MSG(Message) 出力するメッセージの選定

2019/09/06



Kinematic測位に必要なデータ

- 02-15 RXM-RAWX: 搬送波位相観測データ
   1エポックで1~2KB (捕捉衛星数に依存)
- 02-13 RXM-SFRBX: 各衛星の航法データ
   1秒で1~2KB前後(捕捉衛星数に依存)

 航法データは基準局,移動局で同一のものが取得 できるのでいずれ一方でロギングすればよい
 両方でもよい

移動局は観測間隔が短くてデータが多いので,余 裕のある基準局側で取得することを推奨

### 設定項目4 : MSG(Message) UART への出力





Configuration View で,設定を再開する

02-15 RXM-RAWX と 02-13 RXM-SFRBX を

有効にする ■ USBにチェックを入れる

「Send」ボタンを押す

UBX - CFG (Config) - MSG (Messages)

Message	02-15 F	RXM-RAWX ▼
12C	🗌 On	0
UART1	🗌 On	0
UART2	🗌 On	0
USB	🗹 On	1
SPI	🗌 On	0


# 各種設定を「Send」ボタンで送信し適用してきた

- 現状態の設定は、u-bloxモジュールへの電源供給を切るとリセットされる
- 再起動時は,FLASHメモリのデータが読み込ま れる

#### **内部FLASHメモリ**に現状態の設定を 上書きする操作が必要

# 設定項目:現設定を不揮発メモリ 2019/09/06 に書きこむ

# CFG (Configuration)を開き,「Save current configuration」にチェック これまでのように「Send」ボタンを押し, コマンド送信

■ 念のため数回押す

BATCH (Batch mode output) CFG (Configuration) DAT (Datum) DGNSS (Differential GNSS configuration) DOSC (Disciplined Oscillator) EKF (EKF Settings) ESFGWT (Gyro+Wheeltick) ESRC (External Source Config) FXN (Fix Now Mode) **GEOFENCE** (Geofence Config) GNSS (GNSS Config) HNR (High Nav Rate) INF (Inf Messages) ITFM (Jamming/Interference Monitor) LOGFILTER (Log Settings) MSG (Messages) NAV5 (Navigation 5) NAVX5 (Navigation Expert 5) NMEA (NMEA Protocol) ODO (Odometer/Low-Speed COG filter) PM (Power Management)

ANT (Antenna Settings)





■ 不揮発性メモリに設定を現設定を上書きする 操作をした後であれば,USBを抜いても良い

もう一度USBを差し Configuration View をみてと、先に設定した内容が残った状態になっているのを確認する



選択した衛星システムが取れているか、RATEで設定 した更新間隔でモジュールが動いているかどうかは u-centerに接続して確認できる

- u-center の View に情報がリアルタイムで表示されて いなくても,正しく動いていないとは限らない
  - 例えば USB の Protocol out と Message の設定で UBX と 01-30 NAV-SV-INFO,または NMEA と GxGSV が ON になっていない場合,u-center の GUI に衛星情報は表 示されない

モジュールがちゃんと動いているかをまず確認する 場合は,確認したい MSG について USB のチェック ボックスも ON にしておく

#### 基準局側 u-blox モジュールの 2019/09/06 設定



■ 基本的に移動局側と同じでよい

#### ■ RATE は移動局と基準局で合っていると好ま しいが,基準局は 1Hz でも十分 ■ 経験的に移動体測位では補正情報が5秒以上遅れ るときつい



### u-blox社 GNSSモジュール <sup>2019/09/06</sup> F9P用 プロトコルリファレンス <del>2019/09/06</del>

 Configure View や Message View で見てきた ubx プロトコル形式の制御コマンドやメッ セージ仕様書(公式資料)

https://www.u-

<u>blox.com/sites/default/files/u-blox\_ZED-</u> <u>F9P\_InterfaceDescription\_%28UBX-</u> 18010854%29.pdf





## RTK測位ことはじめ

# **RTK測位の手順**



#### 前準備

- 基準局を固定し,その場所の位置を求める
- リアルタイム測位
  - 1. 基準局は観測するデータをネットワーク経由で配信
    - TCPサーバ機能で中継(RTKLIB のストリームサーバ STRSVR)
    - NTRIPサーバで補正情報配信(rtk2go.com:2101)
      - 既に他者が配信しているのを使ってもいい
  - 2. 移動局は,基準局の補正情報を得ながら,自身の観測データを元に RTK測位演算アプリ(RTKLIBのRTKNAVI)で演算

後処理測位

- 基準局と移動局の観測データをロギング
- u-center または RTKLIB のストームサーバ STRSVR
- 後処理演算ライブラリ(RTKLIBのRTKPOST)で測位演算をする



- 基準局はできるだけオープンスカイに置く
  - 下呂温泉は山が多い,平らな広い場所がない
  - 意外と建物が多い
- SaprkfunのGPS-RTK2ボードに WioLTEをつなげて rtk2go.com:2101/SWEST21
   に送っています



### **RTKLIB**



- フリーでオープンソースのGNSS測位計算用ソフトウェ ア
- MS Windows または GNU/Linux 上で動作
- ここではまず次の2つのアプリケーションプログラムを 紹介
  - STRSVR:ストリームサーバ
    TCP通信のサーバ機能,クライアント機能
    データの中継,ロギング
    RTKNAVI:リアルタイム測位演算アプリケーション
    STRSVRの機能も一部含み,同時にロギングも可能

フォルダ構成と実行ファイル



- RTKLIB\_\*/ というフォルダの下
  - bin/ :実行ファイルが置いてある
  - ソースコードからコンパイルした場合は app/ソ フト名/gcc に実行ファイルができる
- RTKLIB\_\*/bin/rtklaunch.exe を実行すると, 全ての利用可能なプログラムへのランチャー が立ち上がる RTKLIBy243b9









RTKNAVI ver.demo5 b33			0.96																					
2000/01/01 00:00:00.0 GPST																					I		00000	OL
E/N/U-Baseline •	Rover:Bas	se SNR (dBl	Hz)																	• •	N.C.	rk		÷ •
																			G	REJC 5(	⊕ ©			
Solution: 🗆																				3(	)			
E: 0.000 m																								
N: 0.000 m	01	03 08	11	17	22	23	01	08	15	23	24	04	09	11	36	01	03	08	28	33			+	
U: 0.000 m E: 0.000 N: 0.000 U: 0.000 m Age: 0.0 s Ratio: 0.0 #Sat: 0																					2			50 cm
<>																							- I	1 1
																				4 44				<b>.</b>
► <u>S</u> tart			۲	Mark						<u> Plo</u>	t					Opt	ons					Exit		

### 改めて水明館基準局に つないでみる





X

Opt

km

Cancel

 (1) Rover の Type を NTRIP Client にし, Opt で Host:Port をrtk2go.com:2101 に, Mountpoint を SWEST21 に Input Streams User-ID はなし, Input Stream Opt Cmd Format Type (1) Rover NTRIP Client u-blox Password Lt (2) Bas NTRIP Client Options X (3) Cor NTRIP Caster Host Port BETATEST にする Transmit ( rtk2go.com 2101 OFF Mountpoint User-ID Password Reset Cmr SWEST21 V Format *l*t u-blox Input File String にする Ntrip.... OK Cancel

 $\vee + 0$ 

32bit  $\lor$ 

S

x1

Time

OK

### 改めて水明館基準局に つないでみる

2019/09/06



#### ■ Start を押し,うまくつながると,観測して いる衛星と信号強度がでる

RTKNAVI ver.demo5 b33				
2000/01/01 00:00:00.0 GPST				I 0 L
🗉 E/N/U-Baseline 🔻 🛛 Ro	over:Base SNR (dBHz)			Gnd Trk
Solution: E: 0.000 m N: 0.000 m U: 0.000 m E: 0.000 N: 0.000 U: 0.000 m Age: 0.0 s Ratio: 0.0 #Sat: 0			GRE:	JC ⊕ -50 ♀ -40 -30 -20 -30 -20 -30 -20 -30 -20 -30 -20 -30 -30 -30 -30 -30 -30 -30 -3
>				
		(1) rtk2go.com/SWEST21		?
Stop	Mark     Mark	elot	幕: Options	Exit

### 改めて水明館基準局に つないでみる

2019/09/06



■ いったん Stop で止める

■ Option で設定して Start し,基準局の位置を計算してみる

■とりあえずは単独測位

- Positioning Mode は Single
- 下の使用システムには すべてチェックを入れる
  - GPS:米国
  - GLO:ロシア
    - Galileo: EU
  - QZSS:日本
    - BeiDou:中国

Options									
Setting <u>1</u>	Setting2	O <u>u</u> tput	Statistics	Positions	s <u>F</u> iles	<u>M</u> is			
Positio	oning Mode	:			Single			$\sim$	
Frequ	encies / Fil	ter Type	L1+L2	$\sim$	Forward	$\sim$			
Elevation Mask (°) / SNR Mask (dbHz) 25									
Rec Dynamics / Earth Tides Correction OFF							OFF	$\sim$	
Ionos		Broadcast							
Tropo	sphere Co	rrection			Saastamoi	inen		$\sim$	
Satelli	te Epheme	ris/Clock			Broadcast				
Sa	t PCV 🗌 R	lec PCV	PhWU	Rej Ed	RAIMFD	E	DBCorr		
Exclud	led Satellit	es (+PRN:	Included)						
☐ GPS ☐ GLO ☐ Galileo ☐ QZSS ☐ SBAS ☐ BeiDou ☐ IRNSS									
Load Save OK Cancel									

# 水明館基準局の位置を単独測位



Startしてしばらくすると位置が求まってくる

信号強度が色つきになったら、衛星の位置が分かって測位に使われる ようになった印

#### ■ Plot を押すと測位結果が出てくる



SWEST21@下呂温泉水明館



■ TCP通信のサーバ機能,クライアント機能

■ データの中継, ロギング



USBでつながったGNSSモジュールのデータをCOMポートか

ら取得	STRSVR ver.2.	4.3 b31										
	2019/09/06 02:0	)8:04 GPST	Co	onnect Time:	0d 00	):00:00	Serial Opt	ons				×
■ ファイルに	Stream	Type erial V	Opt Cmd C	Conv	Bytes 0	Bps 0	Port Bitrate (bos)	COM1 9600		Parity Ston Bits	None	~
も保存でき	(1) Output      (2) Output	RIP Server ∨			<b>0</b> 0	<b>0</b> 0	Byte Size	8 bits	→ F ream to	Flow Control	None	~
3	(3) Output	~	111	in	0	0			0	ж	Cancel	
See a		a	Ontions		Evit							
TCP/NTRIP	ナーバク	ッライ	アン	ィトと		て外	」 、部に	中総	町	能		

### 自前で作った基準局のデータを<sup>2019/09</sup> 配信するには?

#### ■ STRSVRを使う

- Input: COM ポート (GNSS モジュールのデータ)
- Output: TCP サーバを立ち上げる設定でもいいし,
   外部の NTRIP サーバにつないでも良い
- 外部のフリーな NTRIPサーバ
  - rtk2go.com:2101
  - ユーザ名なし、パスワード BETATEST
     マウントポイントに分かりやすい名前をつける
     ウェブページを読んで節度を持って使いましょう



#### ■ rtk2go.com を使っている人で近隣の人を見 つける

- 国内であれば善意の基準局掲示板を参照する
  - http://rtk.silentsystem.jp/





## USBポートのGNSSモジュールの<sup>2019/09/06</sup> データロギング

 u-center を使う
 Portをコネクトし, RECでロギング

#### ■ STRSVRを使う

Output を File にする

ファイル名を %y%m%d-%h%M%S.pos のように すると,ロギング開始時刻が 入るので便利



#### STRSVR ver.2.4.3 b31

2019/09/06 0	19/09/06 02:26:54 GPST Connect						:00:00
Stream	Туре	Op	t Cmd	Conv	Byt	tes	Bps
🗌 (0) Input	Serial	~				0	0
🗌 (1) Output	File	~				0	0
File Options							×
Output File Path							
r:¥test.ubx							
TimeTag St	wap Intv	∼н	?		ОК	Car	ncel
▶ <u>S</u> tart		<b>‡</b> 0	ptions	•		E <u>x</u> it	







#### **KEYWORDS**

RTKLIB RTKPOST

実験データの処理手順



- u-blox 受信機からのバイナリデータ(拡張子 .ubx)を RTKCONV で変換し,観測データ(.obs)(と航法データ (.\*nav))を得る
- 2. RTKPOST に,対象の観測データ・基準局の観測データ・ 共通の航法データを入力し,測位演算結果(.pos)を得る
   ■ RTKPOSTのオプションの設定が演算結果に大きく影響
- 3. RTKPLOT で .pos を表示

# RTKCONV:ファイルの指定

RTKLIB v.2.4.3 b9



- rtkconv.exe を起動
- .ubx ファイルを指定
  - 出力ファイルは,デフォルトで指定される
    - 必要に応じてファイル名を変える
  - .obs は観測データ(搬送 波位相等のデータ)
  - .\*nav/.sbs は衛星の位置
     データ
- Format: Autoで拡張子で判断 うまくいかないときは ubx なら u-blox と指定

	x
Time Start (GPST) ? Time End (GPST) ? Interval	Init
2000/01/01 🗘 00:00:00 📩 2000/01/01 📩 00:00:00 🛬 1 👻 s 24	Н
RTCAN CV RAW or RINEX OBS ?	
C:\Users\t-kitani\Desktop\	E
Output Directory Format	
u-biox	-
RINEX OBS/NAV/GNAV/HNAV/QNAV/LNAV and SBS	_
🕼 C:\Users\t-kitani\Desktop\	E
C:\Users\t-kitani\Desktop\	E
C:\Users\+ Ltami\Desktop\	E
C:\Users\t-kitani\Desktop\ === = \COM13_160715_045708.hnav	E
C:\Users\t-kitani\Desktop\	E
C:\Users\t-kitani\Desktop\	E
C:\Users\t-kitani\Desktop\	E
	?
Process Options Convert	xit
	RTKCONV ver.2.4.3 b9         Time Start (GPST)       ?         1       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         2000/01/01       00:00:00         24         RTCM       CV RAW or RINEX OBS         C:\Users\t-kitani\Desktop\          C:\Us



- Options の設定
  - RINEX Version は 2.12 以上(QZSSに対応)
    - 3.03 がお勧め(3.X は可読性が高く,.\*nav が1つに集約される)
  - Satellite Systems は使用する GNSS にチェックを入れる
    - 全選択で問題ない

# Excluded Satellites で特定の衛星 を除外可能

- 例:J01 で準天頂衛星#1を除外
- Observation Types や Frequencies は全選択で OK

Options						×				
RINEX Ver 3.0	13 ~	Sep NAV	Sta	tion ID	0000	RINEX2 Name				
RunBy/Obsv/A	gency									
Comment										
Maker Name/#	/Type									
Rec #/Type/Ve	rs									
Ant #/Type										
Approx Pos XY2	Z 🗌	-3882584.046	0	35306	39.2390	3613035.5470				
Ant Delta H/E/N	4	0.0000		0.0000	J	0.0000				
Scan Obs T	ypes 🖂 I	Half Cyc Corr	$\checkmark$	Iono Co	orr 🗹 Time	Corr 🗹 Leap Sec				
Satellite System	is O 🗹 GAL	. 🛛 qzs 🗹	SBS	BDS	s ⊡irn	Excluded Satellites				
Observation Ty	Observation Types       Frequencies         Image: Constraint Cons									
Receiver Option	IS					_				
Time Torelance	(s) 0.5	Debug L	evel !	5 ~	<u>о</u> к	<u>C</u> ancel				







RTKLIB v.2.4.3 b9

- RINEX OBS: Rover には計測対象の観測データ(.obs)を設定
- RTK測位をする場合は、RINEX OBS: Base Station に基準局の観測
   データを指定

   <sup>20</sup> RTKPOST ver.2.4.3 b9
  - RTK測位しないときは空欄 でOK
- RINEX NAV には,各 GNSS の航法データ(.\*nav)を 指定
  - 利用する全ての GNSS につい て航法データが必要
  - Options(後述)を設定して Execute を押せばよい

📸 RTKPOST ver.2.4.3 b9	x
Time Start (GPST)         Time End (GPST)         Interval         Unit           2000/01/01         ↓         00:00:00         ↓         2000/01/01         ↓         0         ▼         24	н
RINEX OBS: Rover ?	
-	
RINEX OBS: Base Station	
RINEX NAV/CLK, SP3, FCB, IONEX, SBS/EMS or RTCM	Ξ
Solution 🔲 Dir	[]
	?
Plot View To KML Options Execute	

BIKEINFORMATICS | KITANI LAB

# **RTKPOST Options : Setting1 (1)**

- 言及ないものは基本的にデフォルトでOK
- Positioning Mode は Kinematic
  - Single は一般的な単独測位(基準局情報を使わない)
  - Kinematic は移動体の位置を基準局情報を使って高精度測位
  - Static は同じく静止物(独自基準点とか)の位置を高精度測位
- Frequencies は、2周波測位を行うので「L1・L2・L5」

ptions										
Setting <u>1</u> Setting <u>2</u> Output Statistics Positions	<u>Files</u> <u>M</u> isc									
Positioning Mode	Kinematic 🔹									
Frequencies / Filter Type	L1   Forward									
Elevation Mask (°) / SNR Mask (dBHz)	15 🔻									
Rec Dynamics / Earth Tides Correction	OFF V OFF V									
Ionosphere Correction	Broadcast 🔹									
Troposphere Correction	Saastamoinen 🔹									
Satellite Ephemeris/Clock	Broadcast 💌									
Sat PCV 🔄 Rec PCV 🔄 PhWU 🔄 Rej Ecl 📝	RAIM FDE DBCorr									
Excluded Satellites (+PRN: Included) c02										
🕼 GPS 🕼 GLO 🕼 Galileo 🕼 QZSS 🕼 SBAS 📄 BeiDou										
Load Save OK Cancel										

# **RTKPOST Options : Setting1 (2)**

- Filter type は「Combine」
  - Forward は時系列順に測位解を算出する
  - Backward は逆事例列順に測位解を算出する
  - Combine は Forward と Backward の両方の解を照合し算 出(後処理ではこれでよいが演算時間は2倍になる)
- RAIM FDE は明らかに測位演算に悪影響を与える衛 星を排除するアルゴリズムの利用にチェック

使用する衛星システムの ON/OFF はチェックボッ クスを使う



#### 各衛星の搬送波位相値の周波数帯は RTKCONV で変換後に分かる





# El-Mask / SNR Mask (1)



- Elevation Mask / SNR Mask とは
  - Elevation Mask(仰角マスク)とは、どの仰角までの衛星を測位計算から除外するか
    - 低空の衛星は直接信号を受信できないことが多いため
    - 15~40度ぐらいを指定することが多い
  - SNR マスクとは,信号ノイズ比
    - SNR が低くなる反射波を除外するために設定する
       25~45dB を指定することが多いが、受信機やアンテナ

の性能によって異なる

## El-Mask / SNR Mask (2)



#### Elevation Mask / SNR Mask の決め方

📸 RTKPOST ver.2.4.3 b9		🧏 C:\Users\t-kitani\Desktop\
Time Start (GPST)         Time End (GPST)         Interval         Unit           2000/01/01         00:00:00         ↓         2000/01/01         ↓         0         ▼         2		<u>F</u> ile <u>E</u> dit View Windows <u>H</u> elp -⊪ 1 2 Sat Vis ▼ ALL ▼ ALL ▼ ↓↔↓ ↓ ③ ○ ○
RINEX OBS: Rover ?		G01
C:\Users\t-kitani\Desktop\		G03
RINEX OBS: Base State		G07
		ここでいろいろな
RINEX NAV/CLK, SP3, CB, IONEX, SBS/EMS or RTCM		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		◎ (値) ( ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		G17
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		G22
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		G27
Solution Dir		2 G28
C:\Users\t-kitani\[]esktop\		
		E30
Plot View To KML Options Execute Exit		J01
		C01
		C02
ここに観測アータを指定して		C03
キャのギャンナータンケーを	- 7	C04
「   ぶ   れ   の   小   グ   ン   を   押   9   こ   ,   म   析   で   ご	50	C08
		C10
WEST21@下呂温泉水明館		C15

### El-Mask / SNR Mask (3)



SWEST21@下呂温泉水明館

## El-Mask / SNR Mask (4)



SWEST21@下呂温泉水明館

## El-Mask / SNR Mask (4)



### El-Mask / SNR Mask (5)



#### Options で Elevation Mask と SNR Mask を設定



:	SNR N	lask								×
	VR	over [	Base	Station		E	evation	(deg)		(dBHz)
			15	25	35	45	55	65	/5	95
	Ц	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	L2	0	0	U	•	•	•	v	U	0
	L5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
							<u> </u>	<u>)</u> K	) <u>C</u> a	ncel

#### **RTKPOST Options : Setting 2**

# Integer Ambiguity Res Fix and Hold, ON, ON ON は選択できる場合のみ

# Ambiguityとは 搬送波のあいまい性 「Ambiguityを解く」=「

「Ambiguityを解く」=「搬送波の波長数を解く」 先の一つ目のONは,GLONASSでそれを行うか 先の二つ目のONは,BeiDouでそれを行うか

2019/09/06




# **RTKPOST Options : Setting2**



- Min Ratio to Fix Ambiguity は, FIX 解とするための 測位演算結果の信頼性の閾値 デフォルトは2(見低値は1)
- デフォルトは 3(最低値は 1)-
- 大きくするとミスFIX(間違った位置への収束)が減るが、一度電波状況が悪化すると復帰に時間がかかる
- 2周波かつ良好な受信環境では3より小さくしてもよい

### ■ パラメータ調整

静止点測位ではデフォルト値で問題ない
移動体測位では以下のオススメで概ね大丈夫
Min Lock to Fix Amb:デフォルト 0 → オススメ 1
Min Fix to Hold Amb:デフォルト 10 → 同 1
Outage to Reset Amb/slip:デフォルト 5 → 同 10

# **RTKPOST Options : Positions**

■ Base Station には基準局の位置情報を入れる

- 本知の場合は RINEX Header Position または Average of Single Position でよい
  - RINEXのobsファイルには その観測地点の大まかな 位置が入っている
  - 後者では、測位演算時に
     基準点位置も単独測位で
     計算してくれるが
     時間がかかる

Options	_	_	-		×
Setting1 Setting2 Output	t Statistics	Position	s <u>F</u> iles	Misc	
Rover	2				
Lat/Lon/Height (deg/m) 🔻					
90.00000000	0.000000	00	-633	5367.628	5
🛛 Antenna Type (*: Auto)		De	lta-E/N/	U (m)	
		▼ 0.	0000	0.0000	0.0000
Base Station					
RINEX Header Postion -					
90.00000000	0.0000000	00	-633	5367.628	5
Antenna Type (*: Auto)		De	elta-E/N/	U (m)	
		- 0.	0000	0.0000	0.0000
Station Position File					
					E
Load	/e		<u>o</u> k		Cancel

# **PTKPOST Options : Output (1)**

### Solution Format

- 通常は Lat/Lon/Height でよい
  - Datum/Height の設定
    - WGS84:よく使われる測地系
    - 楕円体高(Elipsoidal)
      - :標高ではないので注意

を選ぶ

### X/Y/Z-ECEF

地球の中心原点の3次元座標系(絶対座標)でメートル単位,測地 系に依存しない

Options

Geoid Model

Load...

NMEA Interval (s) RMC/GGA, GSA/GSV Output Solution Status / Output Debug Trace

Save...

E/N/U-Baseline

基準局からの相対距離、東西、南北、上下のメートル単位 絶対位置が不要なとき



0

OFF

OK



2019/09/06

0

✓ OFF

Cancel





# ■ ジオイドとは重力の等ポテンシャル面

■ 簡単に言うと地球の平均海面の形



国土地理院「ジオイド」より <u>https://www.gsi.go.jp/buturisokuchi</u> <u>/grageo\_geoid.html</u>

楕円体高、ジオイド高、標高の関係

#### SWEST21@下呂温泉水明館

# **PTKPOST Options : Output (2)**

Options

Setting1 Setting2

Datum / Height

Geoid Model

Solution for Static Mode

Output Single if Sol Outage / Max Sol Std (m)

NMEA Interval (s) RMC/GGA, GSA/GSV

Output Solution Status / Output Debug Trace

Save....

### Time Format

### GPST

- GPS時刻
- 閏秒を考慮していないUTC
- 現時点でUTCより18秒早い
- ww ssss GPST
  - GPS週(1980年1月6日を第1週)と Load.... 週初めの日曜 GPST 午前0:00 からの経過秒
  - 経過時間を後でプログラムなどで計算するときに扱いが楽

Output Single of Sol Outage : ON 補正情報がなかったり衛星数が足りなかったりで Kinematic測位ができないときに単独測位結果を出すかど うか

itput (Z)		THE ADDRESS OF A DREAM AND A
tions	×	
ting <u>1</u> Setting <u>2</u> Output Statistics Position	ns <u>Fi</u> les <u>M</u> isc	
Solution Format	Lat/Lon/Height $\vee$	
Output Header / Output Processing Options	ON V ON V	
Time Format / # of Decimals	ww ssss GPST V 6	
Latitude Longitude Format / Field Separator	ddd.dddddd 🗸 🗸	

ON

0

OFF

<u>OK</u>

WGS84

Internal

 $\sim 0$ 

Ellipsoidal

0

OFF

Cancel

#### 2019/09/06

# **RTKPOST Options : Misc**



### Time Interpolation of Base Station Dataを "ON" にする

## 基準局の観測間隔がローバーよりも長いとき に補正が効く



SWEST21@下呂温泉水明館





### ■ Save機能で設定をファイル保存できる

### ■基準局用・ローバー用を保存しておくと便利

### ■ Loadすると,保存した設定を復元できる

Options



Setting1	Setting2	Output	Statistics	Position	s Files	
Positio	oning Mode				Kinematic	
Frequ	encies / Fil	ter Type			L1+L2+L	
Elevat	tion Mask (	") / SNR M	lask (dBHz)		30	
Rec D	ynamics / E	Earth Tide	s Correction	n l	OFF	
Ionos	phere Corr	ection			Broadcas	
Tropo	sphere Cor	rection			Saastamo	
Satelli	te Epheme	ris/Clock			Broadcas	
Sa	t PCV 🗌 R	lec PCV	PhWU	Rej Ed		
Exclud	ded Satellit	es (+PRN	: Included)			
<mark>∕ G</mark> P	s ⊠glo	🗹 Galil	eo 🗹 QZS	S <b>⊠</b> SB	AS ⊠B	
Load	Load Save OK					

# RTKPOSTでの測位演算



### ■観測データファイル、航法データファイルの設定、 Optionsの設定が終わったら Execute で測位計算

RTKPOST ver.2.4.3 b9	甘淮日のゴークの時間筋囲け
Time Start (GPST)         Time End (GPST)         Interval         Unit           2000/01/01         ↓         00:00:00         ↓         0         ▼         5         24         H	基準向のデータの時间範囲は,   移動局のデータの時間をカバー
RINEX OBS: Rover ? 🕀 🗉	してたいと PTK 測位できたい
C:\Users\t-kitani\Desktop\=/バイク\2016-07-15gnssランプ.obs	
RINEX OBS: Base Station	
C:\Users\t-kitani\Desktop\ ■■   問易基準周\exp_COM13_160/15_0613 ▼	
RINEX NAV/CLK, SP3, FCB, IONEX, SBS/EMS or RTCM E E E E	
C:\Users\t-kitani\Desktop\	
<b>T</b>	
▼ ▼	Options を変えたら,ファイル名
Solution Dir	も変えると比較できて便利
C:\Users\t-kitani\Desktop\ = • • ···· /バイク\2016-07-15gnssランプ.pos	
done ?	
Plot View To KML Options Execute	計算中に Q=1 と出たら RTK fix,
	Q=2:RTK float,Q=5:单独測位
計算後に押すと図示できる	で計算されたと言うこと
ST21@下呂温泉水明館	

SW





# **RTKPLOT (2)**







### RTKPOST と国土地理院の電 子基準点データを用いた,独 自基準局の高精度位置の計算

### **KEYWORDS**

- 国土地理院電子基準点の観測データ
- Static測位

# 新設独自基準局の 高精度位置演算の手順



- RTKCONV で変換した独自基準局の obsファイル を, RINEX OBS(Rover)として指定
- 国土地理院の電子基準点の「\*.YYo」ファイルを, RINEX OBS(BASE)として指定
- 3. RTKCONV で生成した nav ファイルを RINEX NAV/CLK に指定
- 4. RTKPOST の Options : Setting1 の Positioning Mode は Static を指定
  - 求めたい独自基準局の位置は静止点であるから





- 2つの方法がある
- ① 測量成果(測地成果JGD2011)
  - 元期に相当する
  - 東日本は2011年5月24日,西日本は1997年1月1日の位置が基準
  - 測量ではこっち
- ② 電子基準点の日々の基準点位置変動データから平均値を 算出する

今期に相当する

リアルタイムで地球上の位置にする 自動運転などはこっち?

セミダイナミック補正で相互変換は可能





# 国土地理院の「基準点成果等閲覧サービ ス」のウェブページに接続

2.使用する基準点を検索し「基準点成果情報」の緯度・経度・楕円体高を得る

# 注意 公共測量に使う場合は無断使用はできません 自分用に使うのであれば大丈夫だと思います

### 国土地理院ウェブサイト 2019/09/06 https://www.gsi.go.jp/

■ 電子基準点データ	なの利用に 🗙 💓 GSI HOME PAGE - 国土地 🗙 基準点成	果等閲覧サービス 🗙 🕂		
$\leftrightarrow$ $\rightarrow$ $\mathbf{G}$ $\textcircled{0}$	🗢 🗓 🐘 🛈 🚔 https://www.gsi.go.jp		80%	· 🖂 🕸 🗡 🖻 🔍 😅 🙆 🖄 😫 🗎 😽 😂 🚍
	理院 Manager of American			コ本文へ 文字サイズ変更 (#1) (出大) ロ English              ・             ・
		地理院ホーム 国土地理院の紹介 基準点・測地観測データ 地図・空中写真・地理	調査 防災間達 GIS・国土の情報 申請・承認	
ご利用 ガイド (初めての方へ)		地理空間情報ライブラリー	<u>ライブラリー入口 I►</u>	<ul> <li>○ 防洪・災害対応</li> <li>■素売補業よの9℃、おかつやすく</li> </ul>
国土地理院の紹介			日本本点成果寺 開覧サービス	災害関連情報
国土地理院の概要			全国の三角点、水準点に 関する情報を検索して開	大学へ後えよう! ハンモニンマル・マートーカル
測量法 測量士国家試験·登録 基本測量 公共測量		□ 地理脱地図 地形図、写真、活新用図事、2000以 上の情報を21プで開発できます。	現できます。 4 5 > 11 (今止	113 - 22740 - 249 ● 数字のための数字 指定 第 念 違直 場所 下人がなる実際の数目
地理空間情報活用推進 基本法	新着·更新情報			□□ 自然災害伝承碑 □
研究開発 国際活動	<ul> <li>【お知らせ】自然災害伝承碑の記載等地理院地図の内容充実に伴う表示のま</li> <li>鼠ヶ間駿葱場の朋位データの送信中新に関する今後の対応について(8月14)</li> </ul>	変更について(8月15日) 3)		● #世界について 一個土地理院の1994年 一地国の利用手続い
地震予知速格会	· 臨時的任用職員募集情報(8月13日)			調整成績利用のインターネット中国
地方潮量部のページ	<ul> <li>令和元年7月の地殻変動(8月8日)</li> <li>海を高止地面について(8月6日)</li> </ul>			*7>*XI-+724-127
ご質問・ご意見	<ul> <li>国土地理院広報第613号を掲載(7月31日)</li> </ul>			1 四方公共団体
HERRORES A	<ul> <li>新たに12市区町村35基の「自然災害伝承碑」を地図で公開! ~ 愛媛県、</li> </ul>	高如県、熊本県は初掲載~(7月31日)		○ イベント情報
The second secon	調査の生産性を同上する単新的技術を募集(/月30日) 自分でデザインしたウェブ地図を簡単に作成! ~ 学校教育や防災対応を地図	1で支援~(7月29日)		近代期量150。
子とものページ	* 国土地理院の地図における地下構造物の精度について(7月26日)			GT2 11/28(#) ~11/28(#)
地図と測量の科学館 🙅	* 活断層の正確な位置を知ろう ~牛首断層帯及び跡津川断層帯など4つの割	5層帯の活断層図を公開~(7月25日)		
詐欺にご注意	国土地理院からのお知らせ			< 副気の支折(所分) 南極の したい 地理空間情報
	• 報道免表资料	* 契約 - 入礼情報	● 探用情報	の同い目アンテナ
	* 広報誌	*免注者綱紀保持	<ul> <li>パブリックコメント</li> </ul>	
	■ 刊行物·波料	* 情報公開	<ul> <li>国土地理院シンボルマーク</li> </ul>	山頂満座の33約
	<ul> <li>掲載期間のご来内</li> </ul>	◎ 個人情報保護	* RSSについて	調査・地図作り、どんな仕事? また、日本の代表のので、日本の代表の代表の目的で、日本の代表の代表の代表の目的で、日本の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の代表の
				0 10 + 10 20 00 A 40 A 11 10 A

					Twitter
▲李点·湖地観測デー9	·因·空中写真·地理調查	Rby SQL BALL SAL	GIS-国土の情報	中語·承認	
・ 基準点成果等閲覧サービス	き図・空中写真等の刊行物・提供物	・ 国土地理院の防災業務	- 地理空間情報の活用促進	<ul> <li>基準点測量成果等の操抄本交付申請</li> </ul>	
・ 地震に伴う基準点成果の取り扱い	基盤地國情報	· 地設変動情報	<ul> <li>ISO/TC 211</li> </ul>	<ul> <li>旧版地図の機抄本交付申請</li> </ul>	
・電子基準点観測データ	<ul> <li>電子国土基本図</li> </ul>	<ul> <li>・ 地震に関する対応</li> </ul>	<ul> <li>地理情報標準関連</li> </ul>	- 国土地理院の地図の利用手続	
・ GNSS火山変動リモート観測装置(REGMOS)	<ul> <li>主題図(地理調査)</li> </ul>	<ul> <li>台風豪雨に関する国土地理院の対応</li> </ul>	・ 地理空間情報クリアリングハウス	・ 公共測量	
・ 重力・ジオイド	・ 地図・空中写真閲覧サービス	<ul> <li>火山に関する国土地理院の対応</li> </ul>	· 地理院地図	· 測量成果電子納品境界座標入力	
<ul> <li>地磁気データ</li> </ul>	- 回歴(旧版地図)	<ul> <li>諸外国の災害に関する国土地理院の対応</li> </ul>	<ul> <li>全国都道府県市区町村の面積</li> </ul>	<ul> <li>電子申請・届出等</li> </ul>	
- 潮位を測る(験潮)	· 伊範國		・ 地理に関する情報	- 測量成果ワンストップサービス	
. VIRT	、大統計コレカション		・ +れっ+1.7トラフ(日本国鉄地図編)	- 情報サービス報	



地図と 計

採用情報 🗬

基準点成果等閲覧サービス

■ 電子基準点データの利用に x M GSI HOME PAGE - 国土地 x 基準点成果等閲覧サービス x +

#### ← → C û ∞ 🗉 🛝 🛈 🔒 https://sokuseikagis1.gsi.go.jp/top.html

#### 基準点成果等閲覧サービス

国土地理院が設置した各種基準点の成果及び測量法第42条に定められた。 測量成果の写しについて開催することができます。

#### お知らせ

- 本サービスのユーザーマニュアル(PC版)を一部改訂しました。(令和元年5月7日更新)
- ・ 重要なお知らせ
   ・ 
   臍抄本交付申請書に記載される申請年月日について、改元日以降の元号表 示が「平成」であっても有効な申請書として受付を行います。(平成31年4月22日更新)
- 本サービスのユーザーマニュアル(タブレット版・PC版)を改訂しました。(平成31年3月22 日更新)

#### マニュアルのダウンロードについて

ユーザーマニュアル(タブレット版) [pdf:0.96MB] ユーザーマニュアル(PC版) [pdf:1.80MB]

#### ■公共測量等にご利用いただく場合

- 量計画機関に御確認の上、御利用ください。なお、重力点の緯度、経度、標高の値は、公共測量等 には御利用できません。
- ・割量成果・測量記録の膿抄本交付について(過去の基本基準点成果・点の記も膿本交付できます。)
- ・
   ・
   新聞標及び測量成果の無断使用は測量法により罰せられることがあります。
   <u>使用承認を得て使用して下さい。
   </u>
- 基準点が設置されている土地に立ち入る際は、土地の所有者(管理者)の承諾を得て下さい。
- 基本基準点の移設等維持管理については、国土地理院の各地方測量部・支所にお問い合わせください。

#### 基準点検索入口

#### 本サイトについて

- 本サービスは以下の環境で動作を確認しております。
   OS:Windows7, 8.1, 10/プラウザ:InternetExplore11, Microsoft Edge, Google Chrome64, Mozilla FireFox OS: MacOS X (10.11, 10.12, 10.13, 10.14) /プラウザ:Apple Satari (12.0.2)
- 点の記および写真を閲覧するには ユーザー登録(無料) が必要になります。
- 基本基準点の成果表及び體本交付申請のための書類表示にはAdobe Acrobat Readerが必要です。



- 公共基準点成果等の「閲覧・機本交付の可否」に表示されている「閲覧・機本交付不可」等の情報は、各地方測量部・支所及び各測量計画機関での「閲覧・機本交付」は可能な場合がありますので、各窓口へお問い合わせ下さい。
- 公共(街区)基準点の測量成果は、国土地理院の各地方測量部・支所で閲覧・腰本交付できます。
- 基準点の移設等維持管理については、国土地理院の各地方測量部・支所にお問い合わせください。
- 利用規約は<u>こちら</u>をご確認ください。







SWEST21@下呂温泉水明館

# ①のRTKPOST Optionsの設定: Positions



X

- Base Station を設定
  - ■形式は Lat/Lon/Height (dms/m)
  - 度分秒の間は半角スペース

				Rover			
	※ 속도 모 다	一十日山北		Lat/Lon/Height (d	leg/m) \vee		
【1] 基华只风米 「和 許言		风米仄悲		90.00000000	0.00000000	-63353	67.6285
	• 2014/04/01	止帘		Antenna Type	(*: Auto)	Delta-E/N/U	(m)
20 万 公 の 1 地 熱 図 タ	術田		1			∨ 0.0000 0	0000 0.0000
	- <u></u>			Base Station			
5万分の1地形図名	加子母	2		Lat/Lon/Height (d	lms/m) 🗸		
成果区分	世界測地系(測地成果2	011)		35 48 55.9939	137 27 3. 1677	1103.9	5
北緯	35° 48′ 55″ .9939			Antenna Type	(*: Auto)	Delta-E/N/U	(m)
東経	137° 27′ 03″ .1677					~ 0.0000 0	0000 0.0000
[]]]]]]]]]][[]]][[]]][[]]][[]]][[]]][	1061.61			Station Position Fi	ilo		
楕円体高	1103.95			Station estation			E
半面直角座標糸(畨号)	8		////////////////////////////////////	<b>2</b> 分55 00	20秋		
平面直角座標(X)(m)	-19955.650		年331支4	0/] 00.99			
平面直角座標(Y)(m)	-94804.518	泉約	¥137度2	27分03.16	677秒		
真北方向角(計算値)	0° 36′ 50″ .28		楕円休言	S1103 05	im		
縮尺係数(計算值)	1.000011			<b>J F F F F F F F F F F</b>			
作業内容	標高改算						
作業年月日	20140320			Load	5-vic	OK	Cancel
				Loau	<u>5</u> ave	<u>U</u> K	Cancer

Options

Setting1 Setting2 Output Statistics

Positions

Files

Misc

# Kinematic (static) 測位



	式 RTKPOST ver.2.4.3 b31		$\times$
	Time Start (GPST)         ?         Time End (GPST)         ?         Interval           2019/02/23         ▲         1:00:00         ▲         2019/02/23         ▲         3:00:00         ▲         0         ✓         s	Unit 24	Н
	RINEX OBS: Rover ?	+ E	
	C:¥Users¥Username¥Desktop¥0988231.19o	~	
	RINEX OBS: Base Station	0	
	C:¥Users¥Usernamei¥Desktop¥new_base.obs	~	
	RINEX NAV/CLK, SP3, FCB, IONEX, SBS/EMS or RTCM	=	
	C:¥Users¥Username¥Desktop¥new_base.nav	~	
		~	
		~	
		~	
	Solution Dir		
	C:¥Users¥Username¥Desktop¥0988231.pos	~	
			?
	⊕ Plot     E View     KML/GPX     Cptions     Execute     Execute	E <u>x</u> i	t
Execute	で測位演算を開始		

演算後、Viewで演算結果(posファイル)のテキスト、 Plotで位置情報をグラフ・図で見ることが可能





SWEST21@下呂温泉水明館



#### ■ 演算結果のPOSファイルから,FIXデータの みを取り出し、平均値とする 游ゴシック v 11 v A A A I III v 9 豆 B I ≡ 🖉 - A - 💮 - 💮 🕉 🏈 ■ Excelで計算 190802\_061157\_n % inp file · ¥¥Mac¥Home¥Deckton¥NetR9\_20190801\_150217. X 切り取り(工) ¥NetR9 20190801 150217. GPST (week2064 454380.2s GPST (week2064 454500.0 ■ Step1 ヘッダ行を削除 □ 貼り付けのオプション: 形式を選択して貼り付け(S)... ■ % GPSTの行より前を削除 挿入(I) 削除(D) 数式と値のクリア(N)



22 % ref pos : 34.726213748 137.718291948 112.4899

24 % (lat/lon/height=WGS84/ellipsoidal,Q=1:fix,2:float,3:sbas,4:dg

0.0000 0.0000)

(0.0000 0.0000 0.0000)

latitude(deg) longitude(deg) height(m) C

 セルの書式設定(E)…
 行の高さ(R)…
 非表示(H)
 再表示(U)

21 % antenna2 :

23 %

25 % GPST





### Step2 テキストデータをセルに分割

- A列を全選択
- 2 データタブから 「**区切り位置**」ツールを 選択 (1
- 3. スペースによって区切る
- 4. **完了**ボタンを押し実行

ファイル	ホーム	挿入 ページ レイアウト	数式 <b>データ</b>	校閲表示	こ へルプ	₽ 検索	(2)
データの 取得 >		「 すべて 更新 > こ。	▲ ↓ ↓ ↓	£↓ Interation Interatio Interation Interation Interation Interation Interation Interat	אר די	クリア 再適用 詳細設定	
データ	の取得と変換	クエリと接続	データの種類	並/	、替えとフィルター		データッ
A1	- :	区切り位置指定ウィザード -	1/3			?	🗙 ns sd
A 1 % GI 2 2019, 3 2019, 4 2019, 5 2019, 6 2019, 7 2019,	B PST (08/02 06:13:00 (08/02 06:13:00 (08/02 06:13:00 (08/02 06:13:00 (08/02 06:13:00 (08/02 06:13:00	<ul> <li>選択したデータは固定長のデ</li> <li>[次へ]をクリックするか、区切</li> <li>元のデータの形式</li> <li>データのファイル形式を選択</li> <li>カンマやタブなどの区</li> <li>スペースによって右記</li> </ul>	ータで構成されています。 lるデータの形式を指定し れてください: こ切り文字によってフィール または左に揃えられた固定	てください。 ドごとに区切られたデ 長フィールドのデータ	:夕( <u>D)</u> /( <u>W</u> )		N (s) ratic 5.3 5.4 5.3 5.2 5.2 4.9
8 2019, 9 2019, 10 2019, 11 2019, 12 2019, 13 2019, 14 2019,	/08/02 06:13:02 /08/02 06:13:01 /08/02 06:13:01 /08/02 06:13:02 /08/02 06:13:02 /08/02 06:13:02 /08/02 06:13:02 /08/02 06:13:02	<b>3</b> 選択したデータのプレビュー	:				4.8 4.7 4.6 4.5 41.9 88.3 137.0
15         2019,           16         2019,           17         2019,           18         2019,           19         2019,           20         2019,           20         2019,           21         2019,	(08/02 06:13:02 (08/02 06:13:03 (08/02 06:13:03 (08/02 06:13:03 (08/02 06:13:03 (08/02 06:13:03 (08/02 06:13:04 (08/02 06:13:04	1         # GPST           2         2019/08/02         06:13:00           3         2019/08/02         06:13:00           4         2019/08/02         06:13:00           5         2019/08/02         06:13:00           6         2019/08/02         06:13:01           4         2019/08/02         06:13:00           5         2019/08/02         06:13:01           6         2019/08/02         06:13:01           4         4         4	latitude(deg) .200 34.726581084 .400 34.726581067 .600 34.726581077 .800 34.726581069 .000 34.726581075	longitude(deg) 137.718146860 137.718146847 137.718146842 137.718146852 137.718146854 137.718146851	height(m) 97.8118 97.8141 97.8112 97.8105 97.8091	Q ns sdn(m 1 16 0.003 1 16 0.003 1 16 0.003 1 16 0.003 1 16 0.003 1 16 0.003	) 184.4 234.5 281.6 330.5 374.6 411.6 451.3
22 2019/ 23 2019/	/08/02 06:13:04 /08/02 06:13:04	1. 1.	キャンセル	< 戻る(B)	次へ(N)	> 完了	(E) 492.9 539.4





■ FIXデータのみを取り出して平均値算出

- P列以降に次の式を書きこむ
  - = AVERAGEIF(\$F:\$F,"=1",C:C) = AVERAGEIF(\$F:\$F,"=1",C:C)
  - = AVERAGEIF(\$F:\$F,"=1",D:D)
  - =AVERAGEIF(\$F:\$F,"=1",E:E)
- セルの幅を広くし,<u>小数4桁</u>になるようにする

元のposデータと同じ桁数

この値を<u>独自地上基準局の位置</u>(ECEF座標)と
 し,記録しておく

R

3530650.353

3613009.095

-3882623.495

5.4

5.3





# 移動局の高精度な位置を RTKLIBの後処理で算出する方法3つ

- A) 独自基準局をBase Stationとして使う
  - 1. 独自基準局のロギングを開始
  - 2. RTKCONVでu-bloxファイルをRINEXフォーマットに変換
  - 3. RTKPOSTで後処理Kinematic測位
- B) RTK2GOの基準局をBase Stationとして使う
  - 1. STRSVRでRTK2GOから基準局データを取得
  - 2. RTKCONVでu-bloxファイルをRINEXフォーマットに変換
  - 3. RTKPOSTで後処理Kinematic測位
  - ) 国土地理院の近隣の電子基準点をBase Stationとし て使う
    - 国土地理院のウェブページから基準局データを取得
    - 2. RTKPOSTで後処理Kinematic測位

# RTKCONVを使いRINEX生成



C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.sbs		?		BIHEINF(	DRMATICS   KITANI LAB
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.inav					
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.cnav			Process	Coptions	Convert
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.lnav			1		
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.qnav		m	19/08/22 13:38:09-	08/22 13:40:28: O=	140 N=29 E=280
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.hnav					
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.gnav					
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.nav					
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.obs	=			$F \cdot T = -T$	ポック数
RINEX OBS/NAV/GNAV/HNAV/ONAV/I NAV and SBS		~		N:navデー	タの個数
Output Directory Format					小ツン釵
C:¥Users¥User¥Desktop¥new_base.ubx ~	E				
RTCM, RCV RAW or RINEX OBS ?				変換終了後の	ステータス
Time Start (GPST)         ?         Time End (GPST)         ?         Interval           2019/05/02         ↓         7:45:23         ↓         2000/01/01         ↓         00:00:00         ↓         10         ∨         s         24	Unit	н			
TKCONV ver:demo5 b31 -		$\times$	-		
Base Station : ubx/1	フ	- 1	ノノアイル	➡ obs, nav	/
		_ 1		→ .	_
■ Rover : ubxバイナリフ	ア		イル 🔿 obs		
変換する				エポックデ 5Hz ➡ 1秒に	ータ取得数 5エポック
■ Roverの観測データ,	E	38	ise Statio	nの観測ラ	データを

S٧

# RTKPOSTを起動し設定する



### 基本的に独自基準局を設置する時と変わらない

### ■ 変更項目

- Positioning Modeを
   Kinematicにする
- PositionのBase Station
   に先に出した位置情報を
   設定

Options								$\times$	
Setting1	Setting2	Output	Statistics	Positions	s Files	Misc	:		
Positioning Mode Kinematic									
Frequ	encies / Fil	ter Type			L1+L2+L5	5 ~ (	Combined	~	ľ
Elevat	ion Mask (	) / SNR M	lask (dBHz)		30	$\sim$			l
Rec Dynamics / Earth Tides Correction OFF							OFF	$\sim$	ĺ
Ionosphere Correction Broadcast								~	ļ
Tropos	sphere Cor	rection			Saastamoinen			$\sim$	ł
Satelli	te Epheme	ris/Clock			Broadcast			$\sim$	ł
Sat PCV Rec PCV PhWU Rej Ed RAIM FDE DBCorr								ł	
Excluded Satellites (+PRN: Included) C02									
GP	GPS GLO Galileo QZSS SBAS BeiDou IRNSS								

Base Station		
X/Y/Z-ECEE (m)	~	
-3882623.6210	3530650.3249	3613008.9616
A	4	BUILD PARALAN

# RTKPOST の設定: Setting 2

### ■パラメータ調整

- RTKLIBのデフォルトは静止点測位にはいいが 移動体測位ではあまり性能が出ないことも
- 以下のオススメ設定を元に調整する
  - Min Lock to Fix Amb: デフォルト  $0 \rightarrow$  オススメ 1
  - Min Fix to Hold Amb: 同  $10 \rightarrow 1$
  - Outage to Reset Amb/slip:同 $5 \rightarrow 10$

# RTKPOSTの設定



RTKPOST ver.demo5	b31		_		$\times$	_
Time Start (GPST) ?	Time End (GPST)	? Interv 0:00 • 0.05 ~	val Unit s 24	1		ドローンの観測データ
RINEX OBS: Rover	?					
C:¥Users¥Useri¥Desktop¥	LOG00002.obs			1	~	
RINEX OBS: Base Station				1	3	
C:¥Users¥User¥Desktop¥t	erras¥190729_base.obs			,		
RINEX NAV/CLK, SP3, FCB	, IONEX, SBS/EMS or RTCM		= =		3	甘淮口の知识一方
C:¥Users¥Use¦¥Desktop¥t	erras¥190729_base.nav					基準向の観測アータ
					~	
					~	
					~	
Solution Dir						
C:¥Users¥Useri¥Desktop¥	LOG00002.pos				~	
					?	
④ Plot 티 V	iew <u>K</u> ML/GPX	Cptions	Execute	E <u>x</u> i	t	
101	)					_





- POSファイルができる
- RTKPLOTでみる



 Fix解が少ない場合、仰角マスク等の設定をする
 演算に使う衛星選択で、BeiDouを外すとFix率が上が る場合あり(事前実験での知見)

QZSSを含める場合,Trimble社製(国土地理院電子基 準点でよく使われている)とu-blox社製の受信機の相 性が悪いことに注意









SWEST21@下呂温泉水明館

# RTKNAVI:入力設定



1	PCに モシ	:接 ジュ	続さ 一ノ	れレか	たい	ーblox のデー	測位 - タ		r
Input Streams			_					K	
Input Stream	туре		Opt	Cmd		Format	t	Opt	
(1) Rover	Serial	$\sim$			u-bl	ox	$\sim$		
(2) Base Station	Serial	~			u-bl	ox	×		
(3) Correction	Serial	$\sim$			RTC	CM 2	$\sim$		
Transmit NMEA GPGG	A to Base Station							星	準局となるu-blox測位モ
OFF	<ul> <li>0.00000000</li> </ul>	0	.000	0000	00	0.000			ジュールからのデータ
Reset Cmd					Max	Baseline	10	km	
Input File Paths								1	
☐ Time x1 ~ +	0 s 64b	it [		ОК			Cancel		Base Station設定について
									RTK2GOを使用する場合は NTRIP CLIENTに設定する

SWEST21@下呂温泉水明館

# RTKNAVI:シリアル通信設定

Input Streams							over	DC10		· · · · · ·	USUIUX	
Input Stream	Type		Opt	Cmd			Serial Option	S				
(1) Rover	Serial	~					Port	COM30	~	Parity	None	
(2) Base Station	Serial	~			u-blox		Bitrate (bps)	115200	~	Stop Bits	1 bit	
(3) Correction	Serial	$\sim$			RTCM 2		Byte Size	8 bits	$\sim$	Flow Control	None	
Transmit NMEA GPGG	A to Base Statio	n		_			Output Re	eceived Str	eam t	o TCP Port		
OFF	✓ 0.00000000000000000000000000000000000	00 0	.000	00000	00 0.	C				ОК	Cancel	
Reset Cmd					Max Base							-
Input File Paths												
□ Time x1 ~ +	0 s 6	4bit		ОК		Cance	el l					
( ASA												

# RTKNAVI: 測位演算結果の出力



<sup>① GPST</sup> ェック La 入れる 扱い <sup>、</sup>	at/Lon/He やすい形式	ightなと tを任意	 指定		+ □ □ □ [ 0 ] L  5
O put Streams				×	40
Output Stream	Туре	Option	Format		
(4) Solution 1	File	×	E/N/U-Baseline	~	
(5) Solution 2	Serial	~	Lat/Lon/Height	~	
Output File Paths					保存先を設定
)					
					Τ.
Swap Intv		OK	Cancel		

ファイル名を %y%m%d-%h%M%S.pos のようにすると,ロギング開始時 刻(%yは西暦2桁,%mは月,%dは日,%hは時,%Mは分,%Sは秒)が 入るので便利

次のログファイルの指定でも同様の指定ができる

# RTKNAVI: ログデータの出力



ニック へれる	信したInp イル	utデータ ん保存	×をファ ト	]≁[][[	
L Streams				×	
Log Stream	Туре	Opt			50
G) Rover	File	×	Output Event		•
(7) Base Station	File	×		-	
(8) Correction	Serial	~			
Log File Paths					伊方生を設守
					体行元で設定
				111	
Time-Tag Swap Intv	✓ H ?	ОК	Cancel		

TWELITEでの無線通信で送信漏れがないような環境であれ ば,ドローン上のOpenLogでのロギングは不要にできる
## RTKNAVI: 測位演算の設定し実行



2019/09/06

# 基本的にはOptions は,後処理 Kinematic 演算のときの設定と同じ







SWEST21@下呂温泉水明館



## さあGNSSモジュールが つながったPCを持って 外を歩いてみましょう





#### 研究室の2019年時点での見解

SWEST21@下呂温泉水明館

BIKEINFORMATICS | KITANI LAB

## RTK測位について



#### ■ 必要な衛星数は?

- 可視衛星15機程度で問題ない(1周波の場合)
- 2周波の場合15機より少なくても良い
- 衛星数が測位精度の良さに影響するか?
  - 衛星数よりかは、演算に用いられる衛星の信号状態の 良しあしが強く影響を与える
- RTCMの補正データ配信に必要な通信速度

10kbps程度

1秒に1回の補正情報を送ることができればよい ただ、5秒に1回は欲しい





### ■ 基準局からローバーの距離の制約は?

- 15km以内であれば,センチメートルを期待でき る
- 基準局のアンテナの性能にもよる

Trimbleなど高価なもの

基線長10kmに対し測位精度が1cm程度下がる

## 国土地理院の電子基準点データ

- 後処理であれば自前で基準局を作らなくても 国土地理院電子基準点の観測データを使えば いいのでは?
  - 必ずしも近くにあるとは限らない
  - 30秒に1回のデータなので移動体のRTK測位で精度を出すことが難しい

移動体だと5km以内,1秒間隔で欲しい
BeiDouに対応してない

## RTK測位の機材について



グランドプレーンとは?

- アンテナ下に導電性のプレートを配置してマルチパス を除去する
- アンテナはグランドプレーンを付けることを想定して 設計されている

参考: <u>トランジスタ技術</u>,"全国で1cm測位!RTK-GPS", 2018年1月

ドローン使用上グランドプレーンは必要か?
ドローンに乗せる場合は、反射物から50cm~1m以上離れていれば、グランドプレーンの有無による変化はそれほど無し

## F9かM8か? 内蔵エンジンかRTKLIBか?



■ u-blox F9Pを使うか,u-blox M8Pを使うか?

- 2周波である事に加え,RTK測位エンジンが改良されて いるため,圧倒的に性能はF9Pが高い
- F9はM8と比べて,BeiDou/GLONASSの同時受信がで きるため単独測位精度も大きく向上
- M8Pの内蔵エンジンはGalileoとQZSSも使わない

#### u-blox内蔵エンジンかRTKLIBか

静止点測位ではF9PもRTKLIBも大差ない 移動体測位では内部情報を活用しているF9Pに軍配 M8P対RTKLIBなら,RTKLIBに軍配







#### Contact





#### 木谷 友哉 (E-Mail <u>t-kitani@kitanilab.org</u>)

静岡大学 大学院総合科学技術研究科 情報学専攻

Graduate School of Integrated Science and Technology, Shizuoka University, Japan

http://kitanilab.org

BIKEINFORMATICS | KITANI LAB